

平成 29 年 8 月 21 日
日本船主協会 企画部広報室

海フェスタ神戸の機会を捉えて
～海事広報ブースの出展およびセイルドリル船上見学会を開催～

当協会は、「海と日本プロジェクト」の一環として、会員会社をはじめ、関係団体と連携し、商船や造船所の見学会などを「船ってサイコ～」と題し実施し、海運の重要性を一般の方々に広く認識いただくべく広報活動に力をいれております。

今般、7月15日～7月30日の16日間で神戸ポートターミナルホールにおいて開催された海フェスタ神戸「海の総合展」の機会を捉え、当協会は、神戸運輸監理部や神戸海事広報協会等の海事関係団体と共同で海事広報に関するブースを出展しました。同ブースでは、外航海運の重要性を伝えるパネルのみならず、内航海運や旅客船などの海事産業に関するパネルの展示、船長服・帽子での記念撮影、救命胴衣の試着、係留ロープの展示、海事産業に関するクイズラリーの実施など子供も楽しめる内容となり、期間中には同会場には23,000名以上の来場がありました。



また、7月16日（日）には日本海事広報協会と連携し、海技教育機構の協力を得て、海王丸のセイルドリル船上見学会を神戸および姫路の海洋少年団の子供達、約20名を招いて開催しました。当日は、船長室や医務室など船内を見学しながら船の仕組みや実習生の船内での生活について説明を受けました。また、海技教育機構の教官の指揮の下、実習生がマストに登っていく様子や、全員が一丸となってロープを引き次々と帆が張られていく迫力ある様子を目の前で見学し歓声を上げていました。子供たちは、広げ終わった帆を目の当たりにし、とても感動した様子でした。

当協会では、今後もわが国の暮らしと産業を支える海事産業を広く知って頂くための活動を展開してまいります。

